

5年	単元名	環境問題について報告しよう
(教科)国語		

1. 単元の目標

集めた資料を活用し、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書くことができる。

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

環境問題に関する資料を複数用意し、児童が自分のテーマに合った情報を集められるようにする。取り出した情報を情報カードに記入し、必要な情報を整理できるようにする。参考図書リストを作成する。

3. 授業での活用場面 図書室での学習

学習活動	学校図書館の関わり
1. 教材文を読み、構成を確認する。 2. 自分の考えを伝えるための効果的な資料とは何か、教材文をもとに考える。 3. 環境の問題の中で、調べるテーマを決める。 4. テーマの中から、調べる内容(課題)を絞り込む。 5. 情報カードの書き方を確認する。 ・箇条書き ・1情報1カード ・事実と考えを区別する(思ったことは☆マーク) 6. 資料を読み、情報を取り出す。 7. 集めた情報を整理し、構成を考える。 8. 構成を考えて、報告する文章を書く。 9. お互いに読みあい、手直しをする。 10. 完成	課題設定(広げる・絞る) 資料の収集 情報カードの準備・情報カードの書き方指導  児童支援(・情報の取り出し・資料説明・資料提示)  資料と、成果物とを結びつけた展示

4. 考察 (成果や課題等)

- ◎グループで作成することで、お互いに協力し合う姿が見られた。
- ◎多くの資料が準備されており、どの子も意欲的に学習に取り組むことができた。
- ◎学校図書館の場を使うことで、すぐに資料を手にとれる環境で調べ学習を進めることができた。
- ◎図書館司書と連携して学習を進めることができ、より多くの目で子どもの学習を支援することができた。
- ・情報の取り出し方、引用するときの約束、要約の仕方などは、今後も継続した指導が必要である。
- ・資料を読む力、資料の種類や長所と短所を理解して適切な資料の選ぶ力等、資料活用能力の指導が必要。
- ・書いてある内容を理解できるようにするためには、論理的な文章への慣れと読解力を身につけさせる。
- ・テレビの影響で、「外来生物は悪」などと、決めつけている子どももいた。広い視野で情報を集め、多面的に物事を見ることができ子どもを育てなければならぬと感じた。
- ・授業者は資料を選定し、子ども達の思考の方向性をきちんと把握して見通しをもっておかないといけない。